

福知山鉄道館ポップランドのあり方検討委員会

(敬称略)

	名前	所属等	備考
1	足立 和義	福知山鉄道館ポップランド運営委員会 館長 西日本鉄道OB会福知山地方本部 顧問	
2	足立 政人	福知山商店街連盟 会長	
3	井上 敬規	プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役	
4	榎原 傑	元京都北都信用金庫 常務理事 元福知山市土地開発公社 第三者委員	
5	梶村 誠悟	福知山商工会議所 専務理事	
6	杉岡 秀紀	公立大学法人福知山公立大学 准教授	
7	福島 慶太	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 福知山地域本部 福知山観光協会	
8	吉見 美晴	京都府行政書士会 常任理事 福知山市社会福祉協議会 評議員	
9	赤井 貴恵	市民公募委員	
10	本多 洋子	市民公募委員	
事務局	桐村 正典	福知山市産業政策部 部長	
	大西 孝治	福知山市産業政策部産業観光課	
	渡邊 清華	〃	
	伊庭 弥広	〃	
	谷 翔平	〃	

第4回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要

1 日 時 平成30年10月5日(金)午前10時～午後11時40分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2

3 参加者

委 員	足立和義委員 (福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長) 足立政人委員 (福知山商店街連盟 会長) 井上敬規委員 (プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役) 榎原傑委員 (元京都北都信用金庫 常務理事) 梶村誠悟委員 (福知山商工会議所 専務理事) 杉岡秀紀委員 (福知山公立大学 准教授) 吉見美晴委員 (京都府行政書士会 常任理事) 赤井貴恵委員 (市民公募) 本多洋子委員 (市民公募)
事務局 (福知山市)	大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事、谷主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	杉岡委員長
協 議	1 加悦SL広場視察報告・前回会議の振り返り <u>主な意見</u> ○完全民営施設となると、文化的に価値がある展示物だとしても、選択と集中の中で、十分な保全が行われない可能性も懸念される。 ○ガイドがあるのとないのとでは満足度が異なり、教育旅行という点においてもガイドが必要である。 2 ポッポランドのあり方協議 <u>主な意見</u> ○目的をコンテンツに落とし込む上で「見る・学ぶ」「遊ぶ・楽しむ」「癒される」の3つのキーワードを定めてはどうか。 ○「見る・学ぶ」においては、国鉄OBの方の語りの保存やジオラマ模型作成ワークショップなどを実施してはどうか。 ○「遊ぶ・楽しむ」においては、プラレールやバッテリーカーの設置、ガチャガチャ、コスプレコーナーの設置などのほか、ミニSL用の線路の

	<p>常設や、鉄道マニアへの写真展時スペースレンタルなどを実施してはどうか。</p> <p>○「癒される」においては、飲食などができるフリースペースが必要。調理機能がなくとも、パンやクッキーなどを作られている事業者へのスペースレンタルなどを実施してはどうか。</p> <p>○場所については、中心市街地に拘らない。また、1つではなく、鉄道マニア向けや子供向けなど機能を分けて、3号館・4号館という分散型施設にしてもよいのではないか。</p> <p>○丹波生活衣館に移設するというのは違和感がある。1つの施設に2つのミッションをかせられるのかということは、今後、視察等で運営者から話も聞いて検討すべきである。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 視察</p> <p>○日時 平成30年10月25日(木)午後1時から午後4時まで(予定)</p> <p>○場所 市内施設</p> <p>(2) 次回検討委員会</p> <p>○平成30年11月9日(金)午前9時～午後0時(終了予定)</p>

市内施設視察報告

日 時	平成30年10月25日(木)午後1時00分～午後4時
視 察 先	福知山市内施設(丹波生活衣館、勤労青少年ホーム、児童科学館、ポップランド2号館、西駅公園)
対 応 者	各施設担当職員
参 加 者	杉岡秀紀委員長、赤井貴恵副委員長、吉見美晴副委員長、足立和義委員、井上敬規委員、梶村誠悟委員、 本多洋子委員、事務局(大西、渡邊、伊庭)
案 内 内 容	【丹波生活衣館】
	対応者: 福知山市地域振興部文化・スポーツ振興課 西村課長補佐兼係長
	【勤労青少年ホーム】
	対応者: 福知山市産業政策部産業観光課 大西担当課長
	【児童科学館】
	対応者: 福知山市土木建設部都市計画課 清水課長補佐、横山係長 福知山市児童科学館 館長
	【福知山鉄道館ポップランド2号館】
	対応者: 福知山鉄道館ポップランド運営委員会 足立館長
	【西駅公園】
	対応者: 福知山鉄道館ポップランド運営委員会 足立館長

丹波生活衣館の概要

文化・スポーツ振興課

- 施設名：福知山市丹波生活衣館
- 所在地：福知山市字内記10番地
- 開館日：平成14年3月9日
- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日：毎週火曜日、12月28日から12月31日、1月4日から1月6日
- 入館料：無料
- 敷地面積：約2,300㎡
- 建物概要：鉄筋コンクリート造平屋建、延床面積約624㎡
昭和41年3月竣工（平成11年3月までハローワークとして使用）

丹波生活衣展示室	90㎡
市民ギャラリー	66㎡
研修室	60㎡
ワークヤード（展示準備室）	24㎡
収蔵庫	35㎡

【開設の経過】

丹波生活衣及び関連品は、失われていく地場産の繊維製品や着物などの染織品を、故河口三千子さん（福知山市箆巻）が昭和30年代後半から収集された資料群である。河口さんの収集活動の趣旨に賛同された有志の方々の協力により、昭和60年頃からは、さらに資料の収集と整理が進められた。平成6年「丹波生活衣コレクションギャラリー建設をすすめる会」（会員295人）が発足し、丹波生活衣館建設運動が広まっていくなか、平成7年5月には河口コレクション2,076点が福知山市重要資料に指定され、平成8年に市に寄贈された。

【館の運営】

河口コレクションを中心にした生活衣の展示と、ギャラリー・研修室を貸室とする「丹波生活衣館」が平成14年3月に開館し、「ギャラリー建設をすすめる会」が母体となって「丹波生活衣振興会」が発足し以降は、丹波生活衣館と協同し、資料収集・整理・展示・広報活動にあたっていただいていた。27年6月振興会は一定の役割を果たしたとして解散したが、10月に振興会有志によって「丹波生活衣同好会」が設立され、現在にいたっている。

開館以降、生活衣館職員（嘱託2名、臨時1名）と振興会会員の御協力により資料の収集も進み、河口コレクションとあわせて約10,000点（着物、帯、風呂敷、布団表、端切れ、その他）を収蔵している。

振興会（同好会）のみなさんには、来館者への対応や学校の課外活動の講師として館の職員とともに、積極的に地域文化を通じた市民の世代間交流及び同世代間交流を進めていただいている。

●過去3年の利用実績

年度	入館者数	開館日数	研修室		市民ギャラリー	
			利用日数	稼働率	利用日数	稼働率
H29	6,985	294	112	23%	96	33%
H28	7,561	292	100		49	
H27	7,611	302	120		63	

◆H29展示会

- 「カイコと絹と着物-子ども達に伝えたい福知山の養蚕-」 H29.4.29~5.28
- 単衣のきもの-きもの暮らし- H29.6.16~9.24
- 継ぎはぎの布 H29.9.30~H.30.3.26
- 手織りと手づくり作品展 H29.11.4~11.30
- 新春企画「袱紗展」H30.1.1~1.31

◆H29研修室利用実績

- 手作り鯉のぼり講習会
- GW企画「絹糸でミサンガをつくろう！」
- 手づくり手提げかばん講習会
- 藍染講習会（3回）
- 夏休みミニワークショップ「ミサンガをつくろう！」（6回）
- 押花体験「押花のタペストリーをつくろう！」
- 糸紡ぎ講習会（17回）

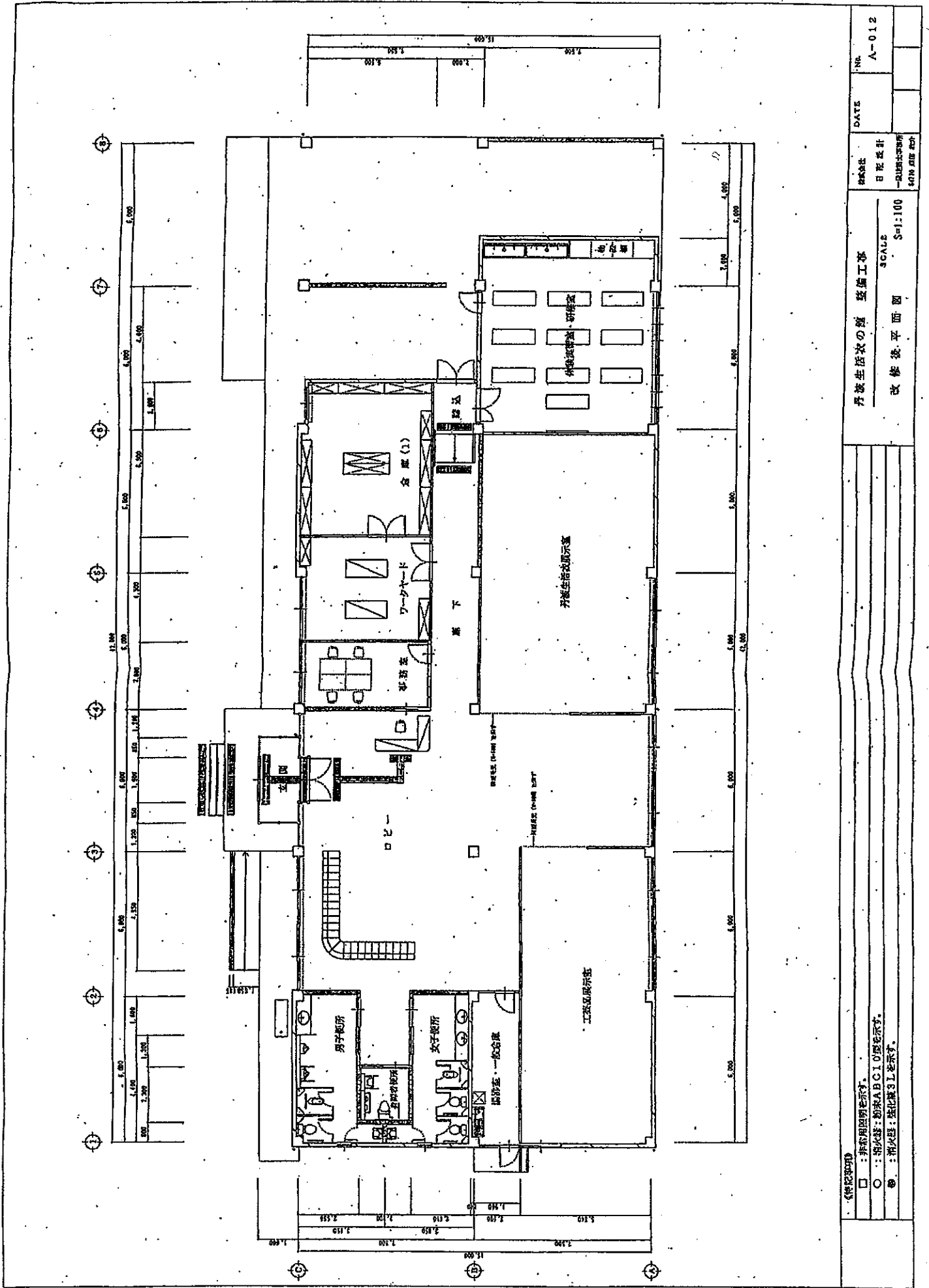
◆H29市民ギャラリー利用実績

- 「カイコと絹と着物-子ども達に伝えたい福知山の養蚕-」
- アートStep絵画教室作品展
- 手織りと手づくり作品展
- 新春企画「袱紗展」
- 福知山の伝統技術展
- ライトアップ研修会

●使用料

施設	使用時間	
	午前9時から正午まで	正午から午後5時まで
市民ギャラリー	1,800円	3,000円
研修室	900円	1,500円

備考 1 土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に使用する場合、上記使用料に1割を加算する。



丹波生活状の解 整備工事 改修後 平面図		縮尺 SCALE S=1:100	設計 日 野 誠 計 一 級 建築 士 事務所	日 期 DATE	図 号 No. A-012
《特記事項》 □ : 非常用照明を示す。 ○ : 消火器: 数字ABC10等を示す。 ● : 消火器: 法化第3Lを示す。					

福知山市児童科学館について

1 児童科学館の開館

福知山の未来を担う子どもたちが科学を通じて想像力を養い、楽しみながら学び、体験できる科学館を目指し、昭和 60 年 7 月 10 日に開館しました。

2 目的

子どもたちが物事に広く興味や関心をもって成長できるよう支援し、また幅広い分野において科学教育を行うことを目的としています。

3 概要

当館の当初事業費は約 826,000 千円、平成 13 年に約 120,000 千円を掛けて改装し現在に至っています。建築面積は、2,307.9 m²（鉄筋コンクリート 2 階建）で、館内はテーマごとにスペースが分かれており、子どもから大人まで楽しみながら科学に触れることができる体験型の学習施設となっています。

また、科学館内の展示物とは別に、星空観察会や子ども科学講座等のイベントを開催し、当館をより多く利用してもらうために積極的な取り組みを行っています。

平成 13 年 3 月には、イベント広場・サイエンスシアターを除くほぼ全ての展示物のリニューアルを行い、平成 22 年度にデジタル式プラネタリウム（全天周映像用プロジェクター）を導入しています。プラネタリウム（10m ドーム）、ボールコースターの 2 大人気施設が当館の大きな目玉であり、入場者数の確保に寄与しているところです。

[展示内容]

2 階

・プラネタリウム・宇宙や地球の展示・幼児と親がくつろげ本などを学習するキッズ広場・2 階から 1 階への力学展示のダイナミックタワー

1 階

・福知山の自然コーナー、感覚の広場・科学の広場・イベント広場（年間を通して様々な企画展を実施）・サイエンスシアター

4 児童科学館の運営

指定管理制度により（公財）福知山市都市緑化協会が維持管理運営を行っています。

職員数 3 人 臨時職員 3 名

来館者 H29 32,314 人（H23 から 3 万人超えをキープ）

収入 H29 7,105,980 円

支出 H29 22,462,654 円(緑化協会の決算額)

5 今後の課題及び方向性

昭和60年7月に開館以来、30年以上が過ぎ、冷温水設備やエレベータ設備、プラネタリウム本体や1階の展示施設などの老朽化が進んでいます。また、宇宙科学などサイエンスをテーマにしているが、機器の更新も含めて最新の情報提供ができない状況です。

来館者も3万人を超える施設で集客もあることから、維持管理費を確保することが当面の課題となっているが、子どもたちに夢を与えるためにも機器更新を実施したいと担当課は考えています。

6 ポップランドの可能性

前提

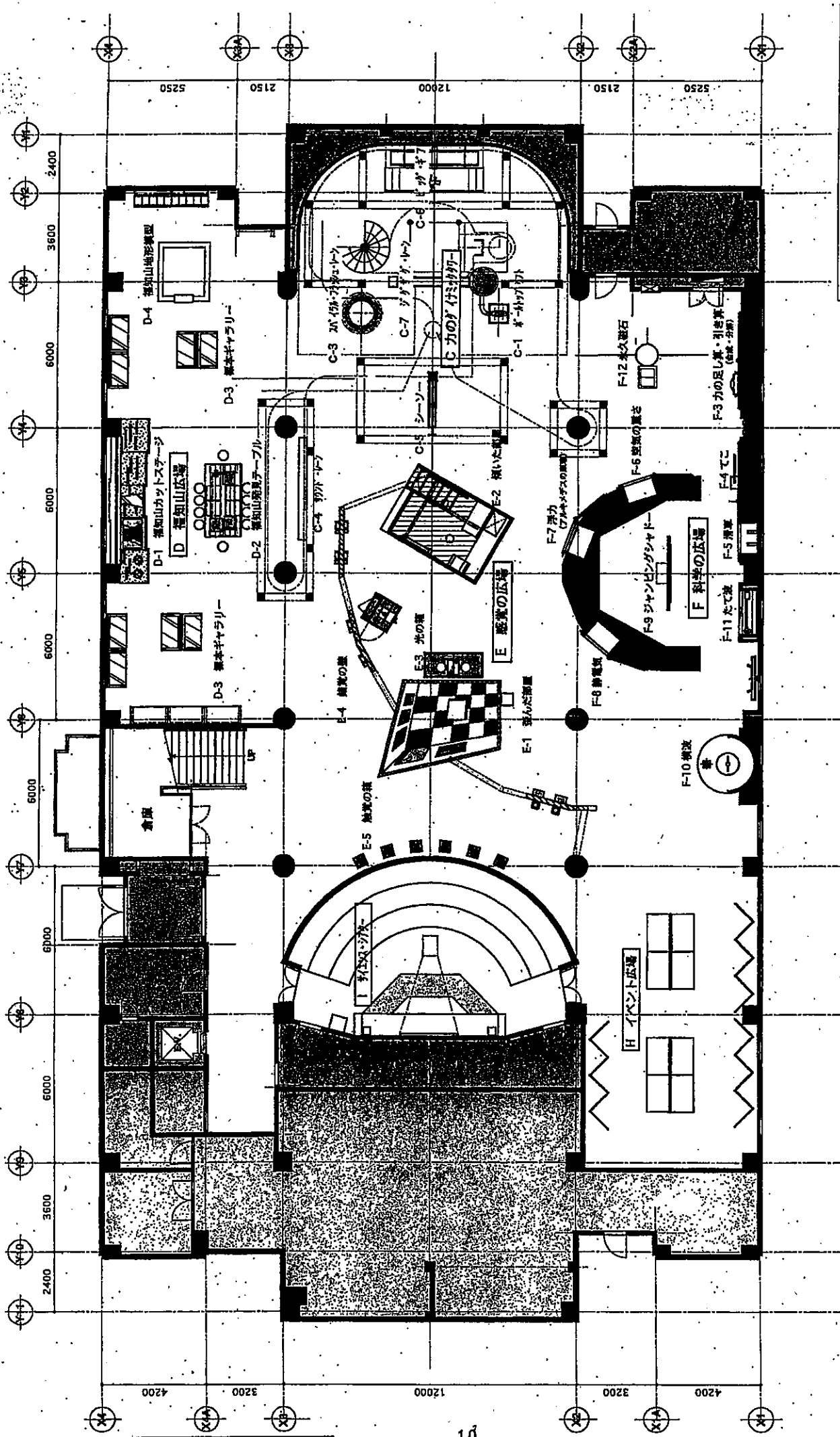
- ・有料施設・指定管理施設・条例で定めがある

可能性

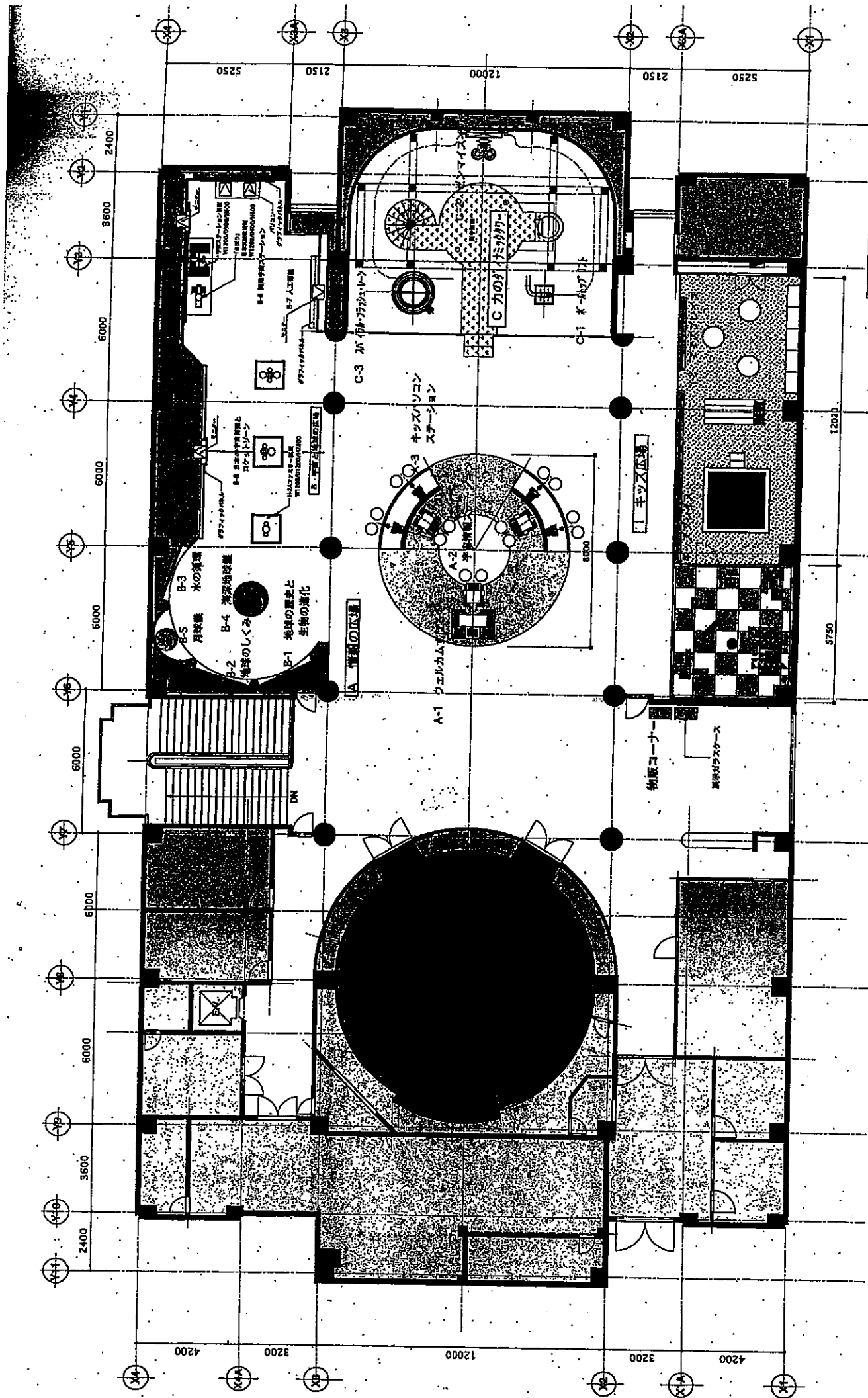
- ・科学館として整備されていることからポップランドの展示物を受け入れる場所に限りがある。
- ・指定管理施設のためポップランド職員を雇用することはできない。
- ・展示物を看視することは人員配置上難しく、展示物はタフでなければならない。
- ・展示物は占用物件になることから、占用者の責任において維持管理をお願いする。
- ・物販すれば物販占用料が発生する。
- ・科学館の全面的なリニューアルを行う検討も必要。

7 総合体育館の談話室利用の可能性

- ・面積 約100㎡
- ・キッチン 約17㎡
- ・土日の軽食をこれまで提供してきた場所で、現在は利用検討中
- ・都市公園法の公園施設設置許可制度により利用可能
(占用料と光熱水費が別途必要です)



福知山市原野科学館改築工事			
館舎名称 1F 全体平面図			
縮尺	1/100	NO.	01
図名	図法	図号	図種
製者	保土	設計	承認



福岡科学館改築工事			
2F 全体平面図			
縮尺	1/100	図名	02
図案	伊藤	図面	設計
承認		図面	承認

